

大阪経済の情勢（2025 年 3月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。百貨店・スーパー販売額は減少。家計消費支出（近畿；2月）は増加。投資は、持ち直しの兆しがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・ASEAN向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府（2月）は、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産（2月）は低下。全国の前（3月）は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間（2月）は低下。

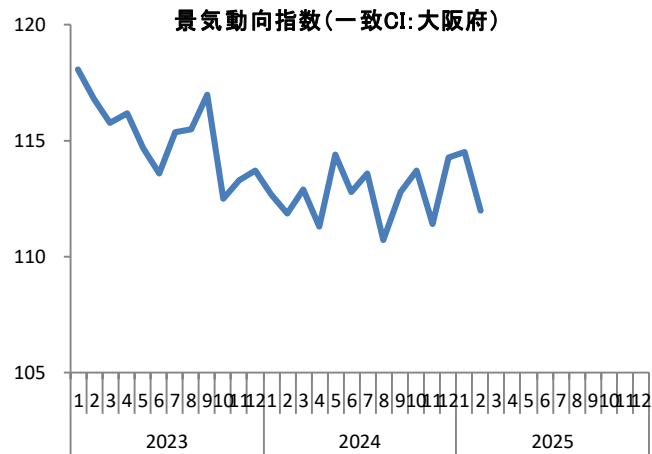
先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要									
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
3月									
2月									

供給						*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
	生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
3月						
2月						

●景気動向指数(CI)

大阪府(2月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「大坂税関管内輸入通関額」「所定外労働時間指数(製造業)」が低下に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

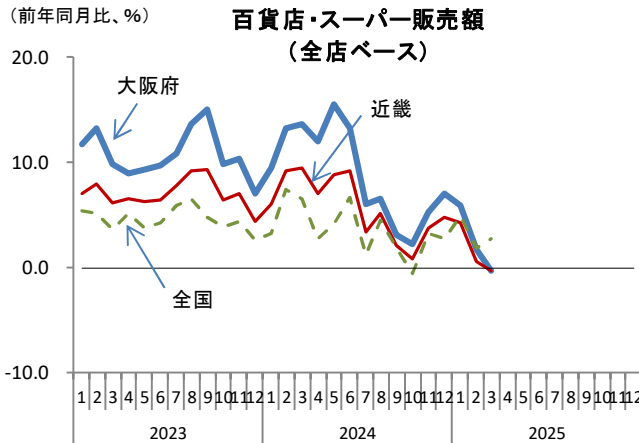
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、2月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
▲0.56	▲0.97	▲0.13	0.60	▲0.31	▲0.39	▲0.75

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。百貨店・スーパー販売額は減少。家計消費支出（近畿；2月）は増加。



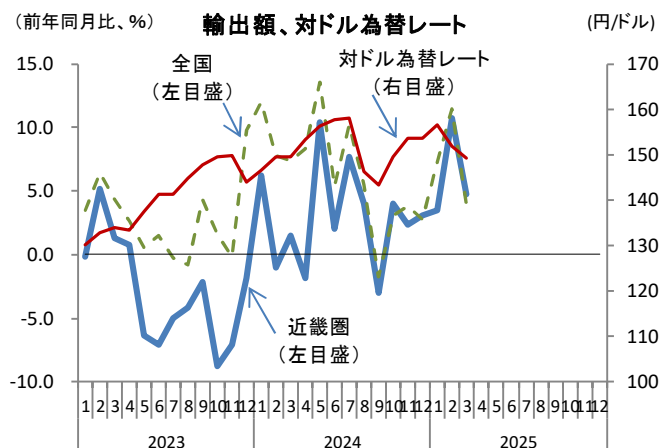
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、3月速報）

大型小売店 合計		▲0.3
うち	百貨店	▲2.5
	スーパー	2.5

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・ASEAN 向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

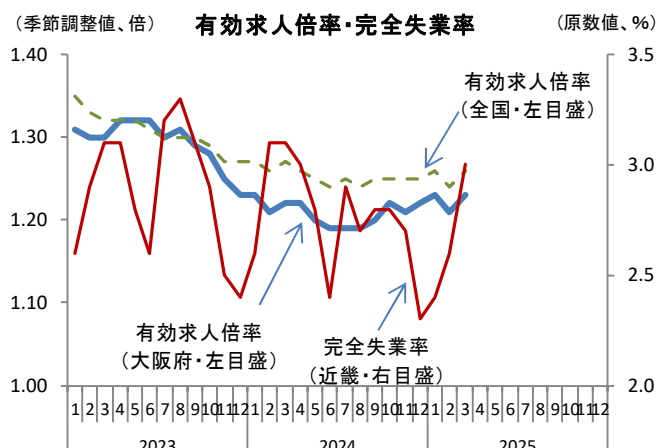
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、3月速報)

アジア(含む中国)	8.9	13ヶ月連続の増加
中国	▲1.3	2ヶ月ぶりの減少
ASEAN	16.1	9ヶ月連続の増加
EU	▲4.2	2ヶ月連続の減少
アメリカ	2.3	3ヶ月連続の増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(2月)は低下。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

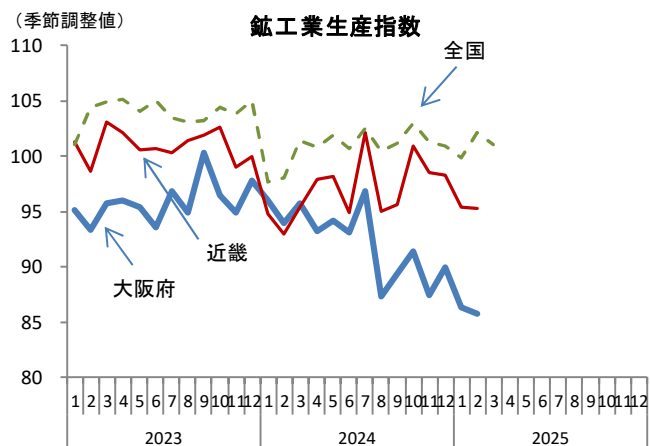
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、3月)

産業計	▲1.7
建設業	▲13.3
製造業	▲5.1
卸売業、小売業	▲23.1
宿泊業、飲食サービス業	83.5
医療、福祉	▲3.9

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(2月)では、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産(2月)は低下。全国の生産(3月)は低下。



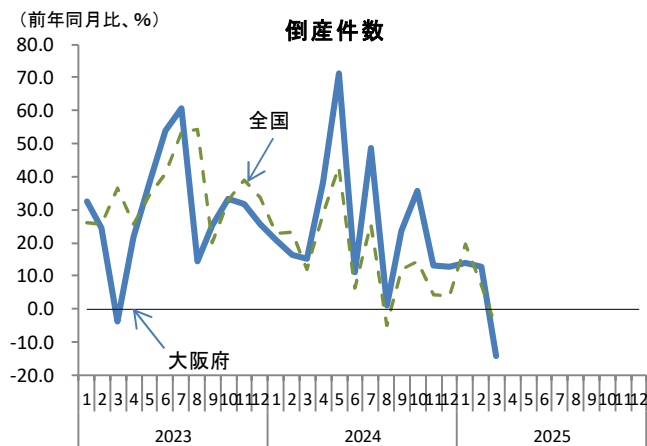
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、2月速報)

上昇	金属製品工業 (13.6) : 橋りょう、飲料用アルミニウム缶 生産用機械工業 (9.9) : ショベル系掘削機械、金属工作専用機
低下	化学工業 (▲12.2) : 医薬品、化粧品 石油・石炭製品工業 (▲16.2) : 軽油、ガソリン

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、3月)

業種	負債額(百万円)
外装仕上工事ほか	600